

本校の生徒がデザインした鹿児島国体(ラグビー少年男子)のPRポスターについて、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

第3種郵便物認可

南 日



①「エール弁当」を考案した国分中央高生②ポスターを作製した薩摩中央高の内田凜さん(右)と中園郁人さん



### 2023 かごしま 国体障スポ

## 応援PR高校生一役

霧島市の国分中央高校の生徒が国体にちなみ、鹿児島と佐賀の食材を使った「エール弁当」を考案した。3日、同市の国分武道館であった県地方青少年銃剣道錬成大会で、選手らに56個を提供した。

国体を2023年と24年にそれぞれ開催する鹿児島、佐賀両県の絆を深める「エールプロジェクト」の一環。佐賀の大豆と鹿児島サツマイモを使ったサラダ、佐賀のレンコンと鹿児島牛肉を使ったハンバーグなど色とりどりのおかずに仕上げた。

国分中央高3年生10人が、佐賀県の神埼清明高とのオンライン交流を元に両県の食材を選んで試作。商品の「HICOCafe」の助言を得て完成させた。霧島市である国体銃剣道会場で販売する予定。国分中央高3年の岡園さくらさんは「元気が出る弁当。食べて国体で頑張っしてほしい」と話した。

薩摩中央

### ラグビー躍動感 ポスターで表現

来年10月の鹿児島国体のPRに向けて、さつま町は地元の薩摩中央高校生と連携してポスターを100部作製した。町内ではラグビー少年男子が開催される予定で、出場選手と同じ高校生にデザインを依頼した。会場の北薩広域公園や、役場に掲示している。

(右田雄二)

内田さんは「多くの人に覚えてもらえたら。観戦にも行きたい」。中園さんは「大会が盛り上がりたてたらうれしい」と話している。